

バレイショ産地小浜町の実態

[要約] 小浜町の全類別収穫面積の69%を占めるバレイショ面積は減少傾向で、特に春作で著しい。また、バレイショ連作が60%、バレイショ単作が25%と推計される。特に山畑地区は、123haの基盤整備が行われ、町の経営耕地面積、バレイショ面積の大半を占め、販売農家が集中している。

総合農林試験場・経営部・経営科

専門

経営

対象

いも類

分類

指導

資料名：平成12年度 九州地域試験研究成績・計画概要集（農業経営）

[背景・ねらい]

県の主要特産畑作物でありながら、近年、減少が著しいバレイショについて、農林業センサスや統計年報などの各種統計データを使って産地の実態を把握し、バレイショ産地を維持していくための方策及び展開方向を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. バレイショ主産地である小浜町は、48の農業集落からなり、経営耕地面積429ha、うち畑が65%を占める（図1）。販売農家数は472戸、うち専業25%、1兼40%、2兼35%で、平均経営規模は約90a/戸である。また、農業就業人口958人の約半数が50～60代で、平均農業就業人口は2.0人/戸である。収穫面積が最も多いのはバレイショで、全類別収穫面積の69%を占める。北部は水稻とバレイショ、南部はバレイショの作付けが多く、南部のバレイショ収穫面積は町の61%を占める（表1）。

2. バレイショ作付面積は減少傾向で、特に春作で著しく、1998年のバレイショ作付面積は571haである（図2）。また畑バレイショが84%で、春作マルチ・遅植え栽培への移行がみられる。

春バレイショに秋バレイショ、水稻、飼料作物、露地野菜類、豆類等を組み合わせた体系が展開されていることと、1995年農業センサスデータ等から、バレイショの作付体系別収穫面積を推定した（表2）。その結果、春秋バレイショ連作が60%、春バレイショ単作が25%と推計される。

3. 町の南西部に位置する山畑地区の経営耕地面積231haと販売農家226戸は、町の約50%にあたる（表3）。平均経営規模は102a/戸、平均農業就業人口は2.3人/戸で、30～40代が他地域に比べて多い。また、受益農家数321戸、受益面積123haとする畑地基盤整備が行われている。主要作付品目はバレイショ、水稻、野菜類、飼料作物で、バレイショ、タマネギ、レタスは、町の収穫面積の70%以上を占める（表4）。山畑地区の借地農家97戸は、町全体借地農家の69%にあたり、1戸平均34aの借地をしている（表5）。

4. バレイショ産地小浜町の維持発展には、山畑地区を中心とした取り組みが必要で、バレイショを基幹とする持続的な輪間作体系の導入の検討が必要である。

[成果の活用面・留意点]

1. バレイショ産地の再編整備をする際に活用できる。

2. 2000年農林業センサスデータによる継続した調査が必要である。

[具体的データ]

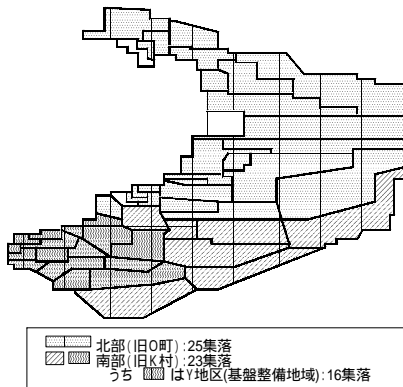


図1 小浜町の概要

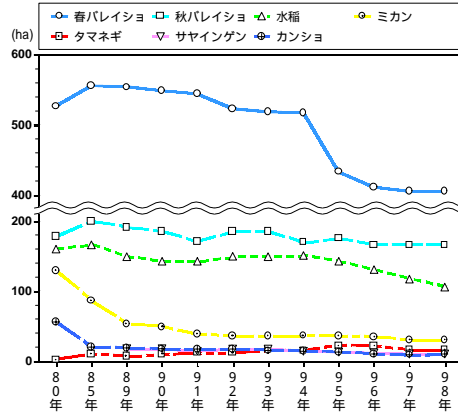


図2 小浜町の主要品目の作付面積の推移(上位7品目)
資料:長崎農林水産統計年報、園芸・工業農産物・花き市町村別統計

表1 小浜町の土地利用の実態

	類別 収穫面積と主要内訳															
	水稲	イモ類	ハレイシヨ (春+秋)	カン シヨ	豆類	工業 農産物	露地 野菜類	タマ ネギ	結球 ハクサイ	ダイ コン	キャ ベツ	レタ ス	その他	飼料 作物	雑穀 花き 等	類別収穫 面積計
北部	3,228	4,660	4,396	264	221	61	343	49	26	63	45	7	153	678	65	9,256
南部	7,698	33,382	33,314 (61%)	68	109	6	1,665	691	509	73	45	60	287	2,103	56	45,019
小浜町 計	10,926	38,042	37,710 (69%)	332	330	67	2,008	740	535	136	90	67	440	2,781	120	54,275 (100%)

注)果樹、茶は除く

資料:1995年農業センサス

表2 小浜町の作付体系別ハレイシヨ収穫面積推定値

	類別 収穫面積										作付体系別ハレイシヨ収穫面積(推定値)					ハレイシヨ単作 推定面積 計		
	春ハレイシヨ70% (推定値)			秋ハレイシヨ30% (推定値)			ハレイシヨ 計	水稲	飼料 作物	豆類	露地 野菜類	春ハレイシヨ+秋ハレイシヨ (のべ)			春ハレイシヨ+水稲 飼料作物等		春ハレイシヨ+野菜・ 豆類等	計
	水田 20%	畑 80%	小計	水田 5%	畑 95%	小計						水田	畑	小計				
小浜町 計	53	211	264	6	107	113	377 (100%)	109	28	3	8	12	214	226 (60%)	47	11	284 (75%)	93 (25%)

注1)類別収穫面積は1995年農業センサスを引用し、ハレイシヨの作型及び地目別作付割合はばれいしょ生産流通事情調査をもとに算出した。

注2)露地野菜類は、結球ハクサイ、ダイコン、キャベツ、レタスの合計値である。

注3)飼料作物の作付は、すべて水田とする。

注4)露地野菜類及び豆類の作付は、すべて畑とする。

表3 山畑地区の経営耕地面積、農家数、経営規模の実態 (ha、戸、a/戸)

	経営耕地 面積	左の内訳				販売 農家	左の内訳			1戸当たり 経営規模
		水田	畑	樹園地	0.6		専業	1兼	2兼	
山畑地区計	231	58	173	0.6	226	71	109	46	102.4	
町全体に占 める割合	54%	45%	62%	3%	48%	60%	57%	28%	113%	

資料:1995年農業センサス

表4 山畑地区の土地利用の実態

	類別 収穫面積と主要内訳															
	水稲	イモ類	ハレイシヨ	カ シヨ	豆類	工業 農産物	露地 野菜類	タ マ ネ ギ	結球 ハクサイ	ダイ コン	キャ ベツ	レタ ス	その他	飼料 作物	雑穀 花き 等	類別 収穫 面積 計
山畑地区計	4,792	27,115	27,082	33	8	3	933	582	35	27	33	60	196	686	50	33,587
町全体に占 める割合	44%	71%	72%	10%	2%	4%	46%	79%	7%	20%	37%	90%	45%	25%	42%	62%

注)果樹、茶は除く

資料:1995年農業センサス

表5 山畑地区の耕地の貸借状況

	経営耕地 面積	貸地						借地					
		貸地 農家数	水田	畑	樹園 地	計	1戸平均 貸地面積	借地 農家数	水田	畑	樹園 地	計	1戸平均 借地面積
		21	140	665	0	805	38.3	97	846	2,440	0	3,286	33.9
山畑地区計	23,141	21	140	665	0	805	38.3	97	846	2,440	0	3,286	33.9
町全体に占 める割合	54%	33%	29%	38%	0%	66%	20.2%	69%	63%	81%	0%	75%	110%

資料:1995年農業センサス

[その他]

研究課題名:九州・沖縄における地域特産畑作物産地活性化のための新しい持続的輪間作
体系化技術の開発

予算区分:国庫(新技術実用化)

研究期間:平成12年度(平成12~15年)

研究担当者:鳥羽由紀子、寺島正彦

既発表論文等:なし